

※学習目標

「物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかもう。」

「先生の遺書」部分のまとめ

先生の遺書には、学生時代の親友Kとの悲劇的な出来事が綴られてた。下宿先のお嬢さんに惹かれた先生とKだったが、先生はKの真面目な性格を利用して、お嬢さんを諦めるよう仕向ける。そして先生は、お嬢さんへの想いを奥さん（お嬢さんの母）に告白し、結婚の約束を取り付けてしまう。このことを知ったKは絶望し、自室で自殺してしまう。先生はKの死に深く責任を感じ、生涯にわたってこの罪悪感に苛まれることとなる。先生はKを裏切った過去を誰にも打ち明けられず、自分を責め続け、孤独に生きることとなる。先生はKの純粋さを踏みにじった自分のエゴイズムに対する嫌悪感こそ先生を世間から隔絶させ、孤独な生活を送らせた原因だった。先生は、日露戦争での乃木希典大将の殉死に触発され、明治の精神の終焉と共に、自らも死を選ぶことで、Kへの償いを果たそうとしたのだった。

① P 111 上 14 ② P 111 下 15 (訓読み)

③ P 113 上 3 ④ P 113 上 12 (こだわること)

② 直前の箇所（P 115 上 2 ～ 5）を参照。

③ どちらにも当てはまらない選択肢が二つあります。また、どちらにも当てはまる場合、同じ選択肢を選んでも構いません。

④ 「私」はKの真面目な性格を利用して、お嬢さんを諦めるよう仕向けたあげく、お嬢さんへの想いを奥さん（お嬢さんの母）に告白し、結婚の約束を取り付けてしまいました。そのことに自己嫌悪を感じているシーンです。食事を味わう余裕などない様子を直喩を用いて巧みに表現しています。

⑤ 取り返しがつかない↓Kの死
黒い光↓自分がKを死に追いやってしまったことの自責の念
全生涯を照らす↓これから生涯背負わなければならぬ。

⑥ 二行先に「つらい文句」とあるのがヒント。Kの遺書にどんなことが書いてあったら「Kを裏切った私」にとって「つらい」か、考えて具体的に書いてみよう。※「つらい文句」の中身を具体的に書くこと。

⑦ P 119 下 13 から手紙の内容がまとめられているので、「自殺の理由」にあたる部分を抜き出す。

⑧ Kの遺書には「私」を責めるような内容が書かれていますので、「周囲の人がそれを見ることによって「私」は自分を守ることができません。「私」は自分のためにそうしたのです。」

思考判断表現 1・2

生真面目で理想を追い求める生き方を目指すKが人生に絶望したタイミングはいつだったか？ P 97 の「省略部分のあらすじ」もよく読んで考えて書いてみてください。

主体的に学習に取り組む態度
問題文をよく読み、求められていることを決まりどおりに書くこと。

NHK高校講座（文学国語）QRコード



後期第四回レポート
提出期限 令和八年一月八日【消印有効】

